宇都宮大学新聞
発行所
宇都宮大学新聞会
宇都宮市峰町350
電話③1371内線(238)

学生不在の学内整備計画

クラス末端からの運動を構築せよ

石井街道の拡張工事に伴なって本格化されてきた学内整備計画は、全て学校側の一方的な「順調」に進行している。

本年度の農経じゃ、図書館、工学部実験棟の建設に次いで、来年度精密工学部・教養部棟、工作実験室の建設が確定しており、さらに翌年度には教育学部の二、三棟が予定されている。

この学内整備計画は学長の諮問機関として設置された「学内整備計画委員会（委員長大沼淳之助農経学部教授）」で決定されている。

大学は本来自己と社会諸矛盾を追求する、という命題のもとに自由な学問研究、真理探究を行なう場である。それが、産業革命後の資本主義の発展の中で資本はより専門的な労働力を要求してきた。それが大学に求められたのは当然である。

そのために教育制度の改編と目的に沿ってより合理的なものに改革していった。（工業高等専門学校はその最も顕著な例であり、また工大に於いても教育と研究の為に保障されておらず、学生が学生の存在を無視した形で行なわれている

学生戦線統一の内容は何か

戦闘的学生運動発展のために

全学連が結成されから一千年、レッド・パージ闘争、砂川闘争、安保闘争……と数々の歴史的闘いの展開になってきた学生運動は、大きく発展した。それは「平和と民主主義」を脅威する勢力に対する闘いが結合され促進された。それは「平和と民主主義」を確保している学生戦線を統一する途は、絶対必要である。基本路線の確認と共同行動の積み重ねがそれを可能にする。学生運動の任務は何かその内容がますます確認される必要がある。

民主運動と階級闘争

今日の学生戦線は大別して二つの路線が提起されている。一つは民主青年、もう一つは民主学生という名称の下に結集している。民主青年は、政府の教育基本法の改悪を阻止し、平和と民主主義を確保するための教育機会均等を求める運動を展開している。民主学生は、学生自治会の自由の確立などを通じて、一般教養の拡充と充実、政府の教育内容の統制排除、学費値上げ反対、福祉に貢献することを決意する。「と高らかにうたい、その第一条は平和的な国家及び社会の形成者として真理と正義を尊重し、心身ともに健康な国民の育成を期し、そして日本の教育は何よりも平和と社会進歩の側に立ち強く前進するかにみえた。しかし一九四九年中国革命の成功は、当時の占領者、アメリカ帝国主義の本性をむき出しにさせた。一九四九年から一九五二年の朝鮮戦争前後はレッド・パージの時期であり、政府文教官僚は教育の自由の確立などを阻害し、教育内容の統制、教育機関の再編成、教育課程の改訂、教育の軍国主義化を進め、世界の平和と人類の幸福を求める人々の願いを踏みにじった。そしてアメリカの対アジア政策の一環として日本独自資本を中心とする戦争産業の育成を目的とした教育の二大変革が強行されたのである。これは、まさに軍国主義復活の道であり、民主的教育の圧殺と教育の軍国主義的再編成の道であった。

一九五九年レッドパージから一九六二年メーデー事件、砂川闘争、安保闘争……と数々の歴史的闘いの展開になってきた学生運動は、大きく発展した。それは「平和と民主主義」を脅威する勢力に対する闘いが結合され促進されている。それは、「平和と民主主義」を確保している学生戦線を統一する途は、絶対必要である。基本路線の確認と共同行動の積み重ねがそれを可能にする。学生運動の任務は何かその内容がますます確認される必要がある。

これに対し、反日共系の共通した学生運動の位置付けは、学生運動は学問の自由の確保と民主化しつつある